



入試

平成22年度入学者選抜学力検査は1月14日に学力奨学生・推薦の部、22日に一般の部が実施され、延べ839名が受検しました。一般の部ではインフルエンザ対策で全員マスクを着用中、今年度導入されたマークシート解答用紙にも上手に対応していました。受検生の皆さんお疲れ様でした。

卒業



ありがとう。

暖かい春の陽気に包まれた3月1日(月)、平成21年度卒業証書授与式が挙行されました。厳粛な雰囲気の中、最後に答辞を述べた生徒が涙をこぼす姿が印象的でした。卒業生たちはたくさんの「ありがとう」に包まれ、学び舎を巣立ちました。



生徒会執行部、始動。

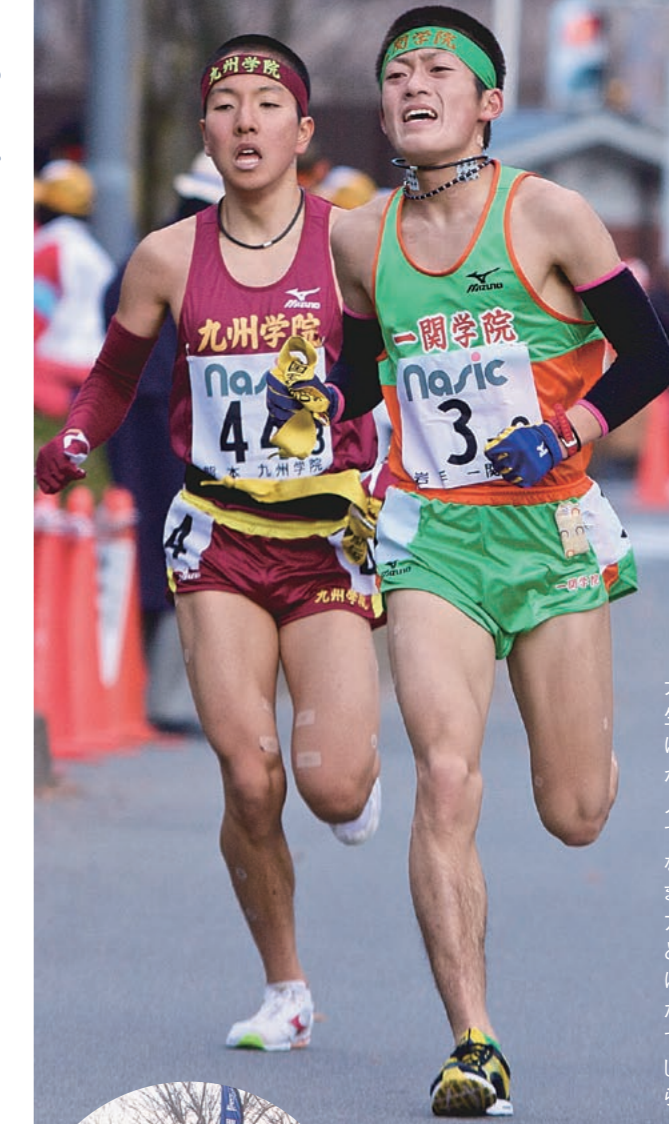


僕の理想は執行部と全校生徒が一体化した生徒会を作ることです。校内行事だけでなく、私学フェスティバルという岩手県内の私立高校のイベントにも、全校生徒に呼びかけて取り組みたいと思っています。僕は大会議長補佐として1年生の終盤に入会しました。執行部の活動を通じて得られるのはとても大きいので、これからも頑張るので、一関学院の生徒会行事に関心を寄せて欲しいと思います。

夏と秋にはオープンスクールを開催しています。一関学院の特色やコース紹介などを、現場の先生や、学んでいる生徒たちが説明します。その他、一部体験入部なども行っているので、ぜひ参加してみてください。また、夏のオープンスクールでは、吹奏楽部によるウェルカムコンサートもあるのでぜひ聴きにきてください(僕は吹奏楽部なので)。中学生の皆さんがたくさん来るのを楽しみにしています。

一関学院は、生徒一人ひとりが目標を持ち、学習や資格取得に取り組んでいます。また、全国レベルで活躍している部活動がたくさんあり、特に運動部の活躍にはめざましいものがあります。「可能性への挑戦」をモットーに、何事にもチャレンジし、学校行事やボランティア活動などにも積極的に参加しています。このような一関学院で、新しい自分を見つけ、私達と一緒に楽しい学校生活を送りましょう。

僕たちは自分の将来に合わせてコースを選択しています。体育コースは体育理論を学んだり、ゴルフやスケートの授業もあります。ビジネス教養コースは、資格を取得し、就職に活かされます。生活福祉コースは、専門分野の他、華道など伝統的な生活文化も学んでいます。総合進学コースは、一般教科を幅広く学び進路決定に柔軟性を持たせています。特別進学コースは、課外授業にも1年生から取り組んでいます。



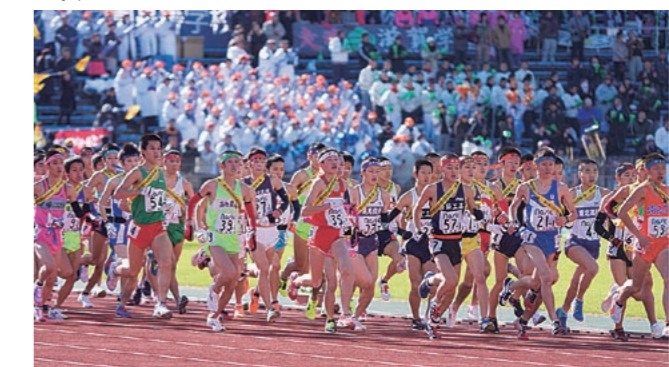
大会を終えて…監督の小岩先生や、いつも支えてくださる皆様に入賞という形で恩返しできなかったことがとても残念です。個人的には昨年より緊張しませんでした。前の選手との差が気になり、前半ハイペースになってしまったと思います。全国の舞台で力を発揮することは本当に難しいと改めて思いました。今年の目標はもちろん全国入賞ですが、それだけでなく「この世代は、これまで一番努力した」と周りから評価して「頂けるような姿勢を、練習から見せていきたい」と思います。



恒例、パタパタ応援も頑張りました。

陸上部、15年連続19回目の全国に挑む。

第60回全国高等学校駅伝競走大会は12月20日、西京極国立競技場を発着点とする7区間(42.195キロ)のコースで行われました。60回記念大会となった男子は各都道府県の代表に各地区代表が加わった全58チームで競い、一関学院は2時間7分8秒で14位と健闘しました。1区を11位で走った佐藤達也主将は、入賞に届かなかったことを悔やみ涙を見せましたが、「来年こそは目標を達成してほしい。」と後輩たちに夢を託しました。今回走ったメンバーは7人中5人が2年生、今年はどんな走りを見せてくれるか期待されます。



1区	佐藤達也(3年 室根)	29分38秒	区間11位
2区	佐藤拓郎(3年 花泉)	08分50秒	区間34位
3区	岩淵慎矢(2年 前沢)	24分49秒	区間24位
4区	斉藤翔太(2年 山田)	24分38秒	区間22位
5区	熊谷駿介(2年 弥栄)	08分50行	区間 8位
6区	佐藤 一(2年高田一)	15分14秒	区間11位
7区	菊地慎也(2年 遠野)	15分09秒	区間11位